



株主のみなさまへ

第74期 報告書

2023年7月1日～2024年6月30日



株式会社 高見澤

つ く ろ う、 今 日 を。

“社会になくてはならない存在でありたい”

多様化するこの社会、地域のなかで、わたしたちはどう進化していけるのだろうか。

かつての青果販売から、時代もわたしたちも大きく変化した。

しかし、そこにはひたむきに一日一日を積み上げてきた“今日”があった。

一つひとつをつくりあげてきた“今日”があった。

わたしたちは、毎日の積み重ねでしか越えられない明日があることを知っている。

TAKAMISAWA にとっての“今日”それは“確かな未来への一歩”だ。

その一歩が重なり、つむがれ、道となり、この先へとひろがっていく。

この先も、なくてはならない存在であるために

つくろう、まっすぐに

つくろう、ひたむきに

つくろう、もっと自由に

つくろう、今日を。



トップメッセージ

「グッドカンパニー」となれるよう、
より良い地域社会の創造を目標とし、
グループ全員参加の経営を
目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第74期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高、営業利益、経常利益は増収増益となりましたが、中国合弁会社の事業環境の回復が見込めないことから、固定資産の減損損失及び貸倒引当金を増額計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

今後も先行き不透明で厳しい経営環境が続くと予想されますが、コンプライアンス経営に重点を置き、安定収益を確保できる経営基盤の確立に取り組んでまいり所存でございます。

そして、経営理念にある「グッドカンパニー」となれるよう、より良い地域社会の創造を目標とし、SDGsに基づいた健康経営の推進と真のウェルビーイング実現のため、グループ全員参加の経営を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月

代表取締役社長 高見澤 秀茂



経営理念

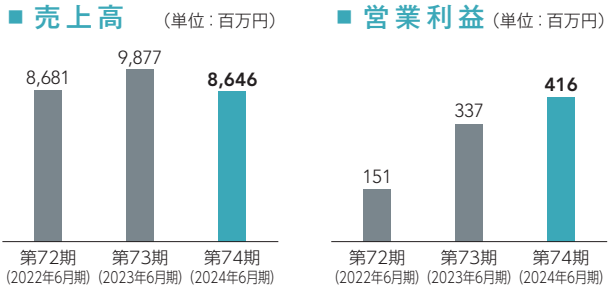
顧客・社員・株主・地域社会に必要とされ、
信頼され、貢献でき、存在感のある
良い会社（グッドカンパニー）を目指す。

事業別セグメントの概況（連結）

建設関連事業

事業領域

主にコンクリート二次製品、生コンクリート、砂利・砂の製造販売のほか、請負工事、建設に関連した資材の販売等を行っております。



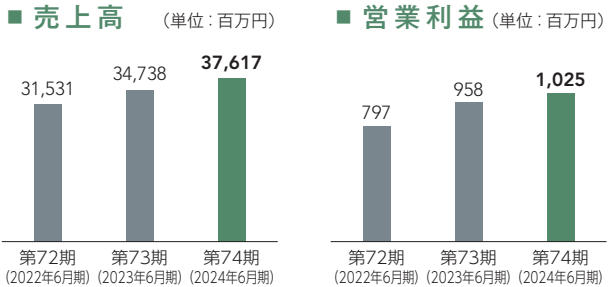
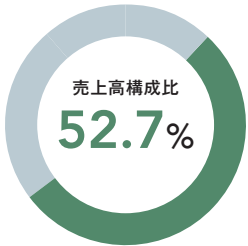
▶ 当期のポイント

国内においては、公共工事、民間工事ともにやや低調に推移したものの、ほぼ前年並みの受注量を確保しましたが、中国における不動産建設市場の悪化により売上が大幅に減少し、建設関連全体として減収となりました。一方、原材料・燃料などの価格高騰や仕入商材の値上りに対し、製造原価の低減や販売価格への転嫁に努め増益となりました。この結果、建設関連事業の売上高は8,646百万円（前連結会計年度比12.5%減）、営業利益は416百万円（前連結会計年度比23.3%増）となりました。

電設資材事業

事業領域

主に電設資材、産業機器及び空調システム等の販売を行っております。



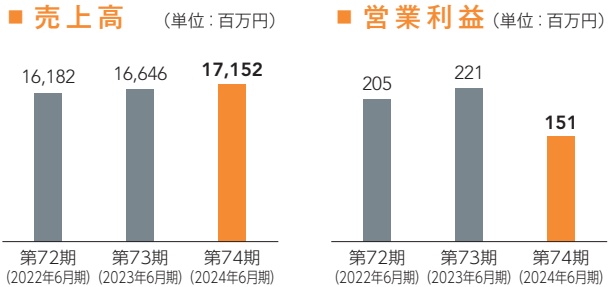
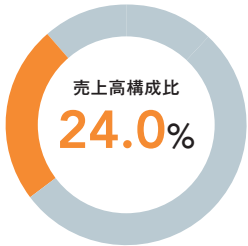
▶ 当期のポイント

設備投資案件に対する積極的な営業活動の結果、受注が好調に推移し、人件費及び諸経費は増加したものの、増収増益となりました。この結果、電設資材事業の売上高は37,617百万円（前連結会計年度比8.3%増）、営業利益は1,025百万円（前連結会計年度比7.0%増）となりました。

カーライフ関連事業

事業領域

主に石油製品の販売及び自動車の販売・整備を行っております。



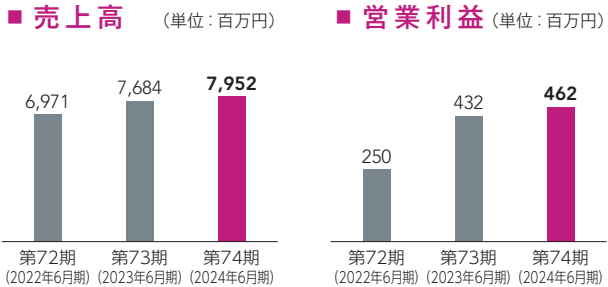
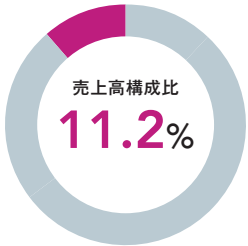
▶ 当期のポイント

石油部門では、燃料油販売が前年並みを確保するとともに、油外商品が好調に推移し増収となりましたが、原油価格高騰と円安による上昇コストの転嫁が遅れ減益となりました。オート部門では、整備売上及び中古車販売は順調に推移したものの、新車販売の減少により減収減益となりました。この結果、カーライフ関連事業の売上高は17,152百万円（前連結会計年度比3.0%増）、営業利益は151百万円（前連結会計年度比31.4%減）となりました。

住宅・生活関連事業

事業領域

主に不動産取引及び食品に関する製造販売等の、様々な生活に関する個人消費者向けの事業を行っております。



▶ 当期のポイント

農産物部門では、きのこ培地の販売が順調に推移し、原材料や資材価格の高騰はあったものの、製造原価低減など利幅確保に取り組み増収増益となりました。不動産部門では、建売分譲物件の取扱量が増加し増収となりましたが、原価上昇分を吸収できず減益となりました。飲食料品部門では、家庭内消費が引き続き順調であったことに加え、販売先の拡大と利幅確保に努め、増収増益となりました。この結果、住宅・生活関連事業の売上高は7,952百万円（前連結会計年度比3.5%増）、営業利益は462百万円（前連結会計年度比7.0%増）となりました。

高見澤の事業

当社は1951年設立以来、激変する社会情勢に対応すべくさまざまな分野へ事業を展開し、多角的総合企業として発展成長してまいりました。

この度、将来の経営環境の変化に迅速かつ柔軟に適応し、持続的な成長を続けるために、これまでの事業部制を見直し、関連性の高い事業をグループ化したセグメント制へ移行いたしました。いつの時代も地域のみなさまに支えられて歩んできた当社は、これから先も“地域社会に貢献する企業”を目指して挑戦を続けます。

INFRASTRUCTURE SEGMENT

インフラセグメント

｜ 建設資材 ｜ 工事 ｜ 運送 ｜

コンクリート製品の供給を中心に街づくりの基盤を支えます。

ENERGY SEGMENT

エネルギーセグメント

｜ SS（サービスステーション） ｜

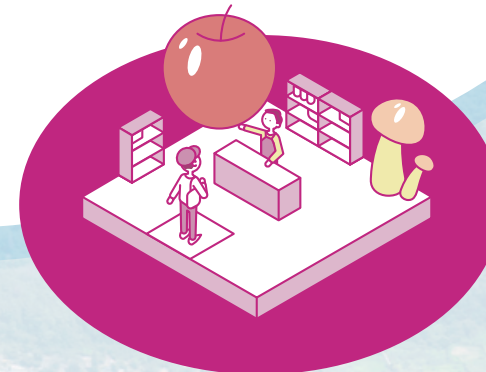
｜ オート ｜ エネルギー ｜

カーライフサポートを中心に灯油・燃料の供給も行っています。



つくろう、今日を。

TAKAMISAWA



ESTATE SEGMENT

エステートセグメント

｜ 不動産 ｜ 環境エンジニアリング事業 ｜

｜ 施設運営 ｜

みなさまの暮らしや夢を支えるためのサービスを続けてまいります。

FOOD SEGMENT

フードセグメント

｜ 特産品販売 ｜ きのこ用培地 ｜

｜ ボトルウォーター事業 ｜ チーズ加工品 ｜

安心・安全で、笑顔があふれる「食」を目指し豊かな食生活をサポートしてまいります。

多様なサービスで
街づくりの基盤を支えています。

インフラセグメント



建設資材

工事

運送

当社は第75期を迎えるにあたり事業機構改革を行い、関連性の高い事業をグループ化したセグメント制へ移行いたしました。今後数回にわたり各セグメントを深掘りして特集いたします。今回はインフラセグメントの事業内容についてご紹介いたします。

建設資材

新しい街と快適な生活を
創ります



地域密着企業として、お客さまの細やかなニーズにお応えします。

道路や河川、農業施設など、社会インフラ整備に欠かせない、コンクリート二次製品や生コンクリート・骨材、セメント・エクステリア製品など、多種多様な建設資材をお届けしています。

近年のお客さまニーズにお応えし、大型化した省人化製品の拡充に注力しているほか、災害対策製品や環境配慮型製品の生産にも取り組み、防災や環境保全に寄与しています。加えて、カーボンニュートラル実現のため、低炭素型コンクリートの製造などにも積極的に取り組んでいます。

また、生コンクリートの骨格をなす砂利・砂等の骨材は、路盤材や構造物の基礎材として使用され、社会インフラ整備に欠かせない原材料です。日々の品質管理を徹底し、良質な製品を提供しています。



コンクリート二次製品



生コン



骨材



建設資材

工事

自然環境に配慮して
次世代の基盤を支えます



地域のみなさまに、安心と安全、そして暮らしやすい街を、確かな品質でお届けします。

道路・河川・橋梁の土木工事や、老朽化したインフラのリニューアル工事を請け負っています。近年頻発する災害発生時には迅速な復旧作業の一端を担うなど、暮らしの根幹を支える工事を行っています。生活環境に欠かせないインフラの経年劣化が進む中、コンクリート構造物の補強・補修工事などのリニューアル工事にも注力し、構造物の「長寿命化」に取り組んでいます。

また、コンクリート圧送業務のほか、コンクリート二次製品の製造と施工で培った経験を基に、状況ごとの現場ニーズに応じた製品や工法の提案から設置までの材工一貫サービスを提供するなど、高い技術力を発揮しています。



土木工事



コンクリート製品据付工事



リニューアル工事

運送

環境にやさしい運行管理で、
お客さまの物流ニーズに応えます



環境にやさしく安全で
確実な運行管理で、多様なお客さまニーズ
にお応えできる運送業を目指しています。

建設現場等に使用される仮設材・材料・機械を運搬する各種大型トラック、建設現場等の重量物を移動及び設置する各種クレーン、またセメントローリーの運用を行っています。

豊富な経験と優れた専門技術により、環境にやさしく安全で確実な運行管理に取り組むとともに、クレーンやトラックなど、多様な規格の車両を保有することで、お客さまニーズにお応えできる運送業を目指し、日々取り組んでいます。

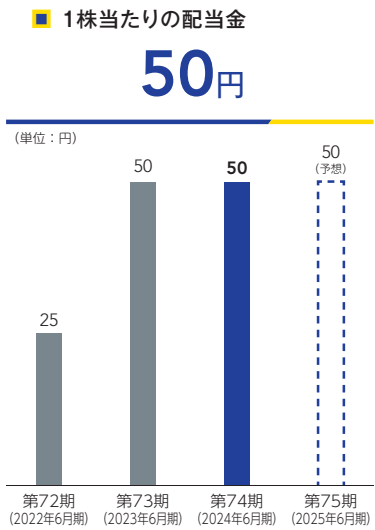
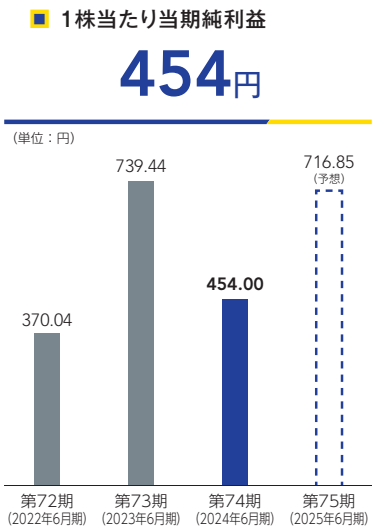
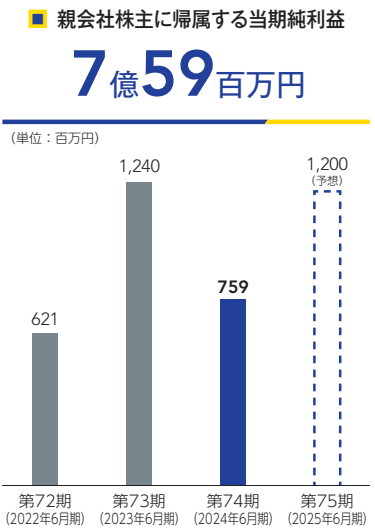
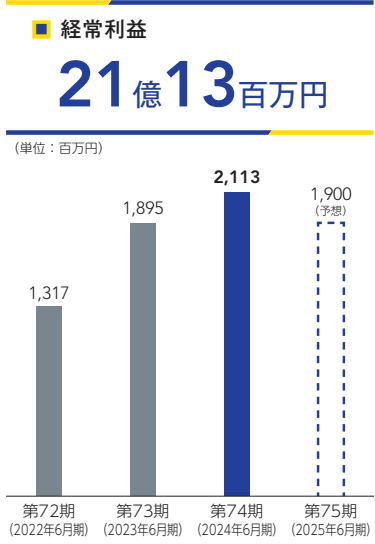
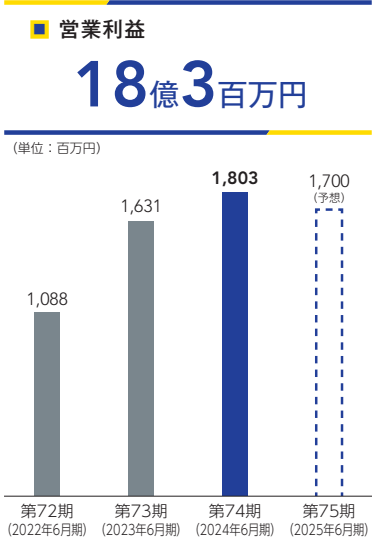
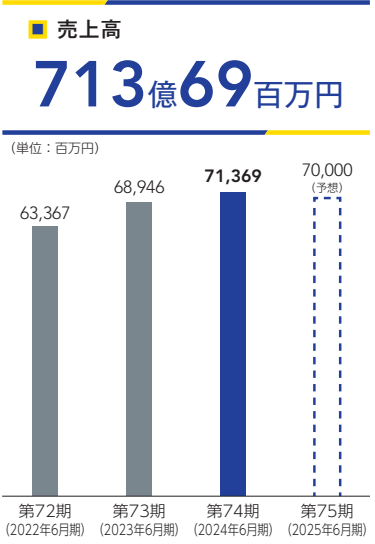


クレーン



トラック

連結財務ハイライト



詳細は当社ウェブサイト「IR・投資家情報」: <https://www.kk-takamisawa.co.jp/ir/>



トピックス

企業ロゴ・タグラインを刷新しました

当社は第75期を迎えるにあたり、組織の機構改編とともに、35年間使用してきた企業ロゴを変更いたしました。また、当社の企業ビジョンを表すタグライン・ステートメントを作成し、「つくろう、今日を。」といたしました。このタグラインは、常に進化を続け、新たな価値を創造し、社会に貢献していきたいという当社の信念を象徴するものであります。このタグラインと新しいロゴは、当社がこれからも持続可能な成長を遂げ、社会に価値を提供し続けるという決意を表すブランドメッセージです。



 <https://www.kk-takamisawa.co.jp/about/corporate-logo.html>



テレビCM・Webサイトをリニューアルしました

企業ロゴ・タグラインの刷新にあわせて、テレビCM及びWebサイトをリニューアルいたしました。テレビCMは、若手社員を中心とした「新CM作成プロジェクト」のメンバーで検討を重ね、「変わり続けます」編と「つくろう、今日を。」編の2パターンが完成しました。当社Webサイトにも掲載しておりますのでぜひご覧ください。



<https://www.kk-takamisawa.co.jp/about/cm/>



<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>



つくろう、今日を。

“社会になくてはならない存在でありたい”
多様化するこの社会、地域のなかで、わたしたちはどう進化していけるのだろうか。
かつての青果販売から、時代もわたしたちも大きく変化した。
しかし、そこにはひたむきに一日一日を積み上げてきた“今日”があった。
一つひとつをつくりあげてきた“今日”があった。
わたしたちは、毎日の積み重ねでしか越えられない明日があることを知っている。
TAKAMISAWA にとっての“今日” それは“確かな未来への一歩”だ。
その一歩が重なり、つむがれ、道となり、この先へとひろがっていく。
この先も、なくてはならない存在であるために
つくろう、まっすぐに
つくろう、ひたむきに
つくろう、もっと自由に
つくろう、今日を。
株式会社 高見澤

株主優待のお知らせ

当社は株主さまご優待として、フードセグメントで製造販売しております「なめ茸「志賀の郷」」をお送りしています。

日本一の産地として有名な長野県中野市の採りたての新鮮なえのき茸を、信州産丸大豆を使った杉桶天然醸造醤油でじっくりと煮込みました。

6種類の味をご賞味いただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。

なお、SDGsの観点から限りある資源を守るため包装資材の削減に取り組んでおります。包装紙に包まずに発送いたしますのでご了承ください。



対 象 株 主	贈 呈 内 容
2024年6月30日現在 200株以上ご所有の株主さま	1名様につき なめ茸「志賀の郷6本セット」を贈呈



お問合せ先
株式会社高見澤 人事総務部
Tel (026)228-0111 Fax (026)227-8046

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・郵送先	(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告いたします。 公告掲載の当社のホームページアドレス https://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主のみなさまの声をお聞かせください



当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



株式会社 高見澤

〒380-0813 長野県長野市大字鶴賀字苗間平1605-14
高見澤ダイヤモンドビル7F
Tel 026-228-0111 Fax 026-227-8046
<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

